

医療法人社団 くわのみ会
桑園整形外科



JR桑園駅から徒歩5分の場所に位置し、駐車場は21台。無料送迎バスも運行している

ホテルのロビーを思わせる待合室。院内は、来院者がやさしさや温もりを感じられるように、随所に工夫が施されている



長年脊椎治療に携わってきた専門医が患者の負担減を第一にした医療を提供

桑園整形外科の本間信吾名誉院長は、市立札幌病院で整形外科部長を務め、30年以上にわたり数多くの腰痛治療や脊椎疾患手術などを手掛けてきた。豊富な臨床経験に裏打ちされた信頼感あふれる診療と、気さくで話しやすい雰囲気、患者本位の真摯な対応が多く、患者から親しまれている。本間名誉院長は「患者さんにとって強い立場に

ある医師の決定だけが、治療のすべてとならないように常に謙虚な姿勢を心掛けています。患者さんの痛みの背景にある生活環境などを考慮しながら、一人ひとりに合わせた治療を提供することが重要」と穏やかな笑顔で話す。治療では、手術は最終手段というポリシーのもとに、神経ブロック療法やリハビリテーションなど、切らない治療を優先。日常生活に支障をきたすような痛みが残る場合のみ手術を勧める。本間名誉院長は「症状がなかなか改善しないからといって、すぐに身体に負担のかかる外科的手術に移行するのは危険」と訴える。

近年、増加傾向にある腰部脊柱管狭窄症。加齢による骨や椎間板の変化などが原因で、歩くと下肢の痛みやしびれが起き、休むと軽減するのが主な症状だ。治療は、予防として日常生活での姿勢や運動のアドバイスを行い、症状が強い場合、運動療法などの保存療法を併用する。保存療法では効果がなく、激しい痛みや麻痺などの症状が出ているケースでは手術の適応となる。本間名誉院長は「手術は神経を圧迫している原因を取り除く徐圧術と、金属を

使つて骨を固定する固定術がありますが、私は患者さんへの負担を考えて、まず徐圧術だけを行い、骨が不安定な変性すべり症の場合は二次的に固定術を行っています」と説明する。

院内は、ホテルのロビーを思わせるような落ち着いた雰囲気。オープン型のMRIや無菌状態に近いクリーンルームでの手術など最先端の設備がそろったほか、入院施設は個室中心で、全室インターネット使い放題とするなどアメニティの充実度が高い。スタッフが常に対話重視の親切、丁寧な姿勢で対応する、思いやりのある温かな接遇など、リハビリに専念できる療養環境が整っている。



正常な脊柱管(写真上)と狭窄症を起こしている脊柱管の横断面(MRI像)。脊柱管が何らかの原因で狭くなり神経を圧迫している

名誉院長 本間 信吾



1971年北海道大学医学部卒業。市立札幌病院整形外科部長を経て、2009年桑園整形外科副院長。11年10月に名誉院長に就任。日本整形外科学会専門医・代議員。札幌市整形外科医会副会長。医学博士

INFORMATION

- 所在地 / 札幌市中央区北8条西16丁目28-30 ●TEL 011-633-3636
- 診療科目 / 診療科目 / 整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科、麻酔科(福原 世世医師)
- 診療時間 / 月～金 9:00～12:00 14:00～18:00 土 9:00～12:00
- 休診日 / 日、祝日
- 駐車場 / 有(21台)
- アクセス / JR「桑園」駅下車徒歩約5分
- 理事長・院長 / 東 裕隆
- 名誉院長 / 本間 信吾
- http://www.dr-azuma.net/

